

信長公記



[信長公記_下载链接1_](#)

著者:小島剛夕

出版者:中央公論新社

出版时间:2001年01月

装帧:文庫

isbn:9784122037779

海外の新しい事物に好奇の心を燃やし、楽市を設けて自由な経済交流を図り、天下統一を夢見て戦に明け暮れた織田信長。本能寺に斃れるまでの十五年間の言動をありのままに伝える『信長公記』をもとに、現代の鬼才絵師が奔放に描いた魅力的な信長伝。平成九年度文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞受賞

作者介绍:

小島 剛夕（コジマ ゴウセキ）

1928年（昭和3）、三重県四日市市生まれ。映画の看板描きを経て1950年に上京、紙芝居作家となる。57年、ひばり書房の描下し単行本『隠密黒妖伝』で漫画家としてデビュー。時代物の貸本漫画を次々と発表した後、漫画誌へ活躍の舞台を移す。70年に「週刊漫画アクション」で連載を開始した『子連れ狼』（原作・小池一夫）が大ヒットし、TVドラマ・映画化された。主な著書に『おぼろ十忍帖』『座頭市牢破り』『柳生陰ノ流レ』『料理人』（原作・昂すまる）『乾いて候』（原作・小池一夫）、黒沢映画を劇画化した『椿三十郎』『蜘蛛巣城』などがある。2000年1月逝去

目录:

[信長公記_ダウンロード1](#)

标签

日本战国

漫画

日本

小島剛夕

评论

[信長公記_ダウンロード1](#)

书评

[信長公記_下载链接1_](#)